

第2回

日本母乳バンク カンファレンス



Amy Hair MD

Texas Children's Hospital

早産児に対する母乳の重要性を再認識しよう

一般社団法人日本母乳バンク協会が設立して2年が経ちました。

昨年6月の第1回日本母乳バンクカンファレンスに続き今年も第2回を開催いたします。今回は、母乳バンクの基本から母乳中のオリゴ糖、ラクトフェリンなど重要な成分のこと、早産児における栄養管理の重要性、母乳の処理方法など最先端の内容を包括的に解説致します。今回は完全人乳由来栄養 (EHMD) について多くの経験をお持ちのテキサス病院Hair先生、UCLAでNICUで新生児栄養の研究を続けてこられたNiklas先生をお呼びし、ハイリスク児に対するEHMDの効用等についてもお話しいたします。大変貴重な機会となりますので、皆様どうぞお誘いあわせの上お越しください。

プログラム

9:00 開場

9:30 - 10:45:

Improving Outcomes of VLBW Infants with an Exclusive Human Milk Diet

完全人乳栄養による極低出生体重児の予後改善効果

Amy Hair B, MD (テキサス小児病院)

10:45 - 11:45:

母乳バンクとはなにか

寺田知正, MD, PhD

12:00-13:00:

How Bioactive Components Improve Outcomes in Infants Fed an Exclusive

Human Milk Diet; Victoria Niklas MD

いかにして母乳は疾病予防につながる栄養と生理活性物質を備えるようになったか?

Victoria Niklas MD (David Geffen School of Medicine, UCLA 小児科教授)

13:15~14:00 母乳の殺菌処理～母乳の利点を残す方法とは
(ランチョンセミナー) 水野克己, MD, PhD

14:15-15:15 超早産児の栄養戦略; 櫻井基一郎, MD, PhD

15:25 - 17:10: 母乳とハイリスク新生児の腸内環境; Amy Hair B, MD

17:30 終了

日時: 6月16日(日) 9:30~17:30

場所: 昭和大学江東豊洲病院 9階講堂

江東区豊洲5-1-38 有楽町線 豊洲駅 6b出口 徒歩7分

参加費: 10,000円 (軽食ランチ付き)

お申込み: 母乳バンクホームページよりお申込みください。

主催: 一般社団法人日本母乳バンク協会 <https://jhmba.or.jp/>

共催: Prolacta Bioscience社

